

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【公表番号】特表2005-537854(P2005-537854A)

【公表日】平成17年12月15日(2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-049

【出願番号】特願2004-534208(P2004-534208)

【国際特許分類】

A 6 1 L	31/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/05	(2006.01)
A 6 1 K	31/085	(2006.01)
A 6 1 K	31/10	(2006.01)
A 6 1 K	31/167	(2006.01)
A 6 1 K	31/216	(2006.01)
A 6 1 K	31/337	(2006.01)
A 6 1 K	31/355	(2006.01)
A 6 1 K	31/405	(2006.01)
A 6 1 K	31/437	(2006.01)
A 6 1 K	31/439	(2006.01)
A 6 1 K	31/525	(2006.01)
A 6 1 K	31/565	(2006.01)
A 6 1 K	31/568	(2006.01)
A 6 1 K	31/57	(2006.01)
A 6 1 K	31/573	(2006.01)
A 6 1 K	31/618	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	47/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 K	47/30	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 M	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 L	31/00	B
A 6 1 L	31/00	Z
A 6 1 K	31/05	
A 6 1 K	31/085	
A 6 1 K	31/10	
A 6 1 K	31/167	
A 6 1 K	31/216	
A 6 1 K	31/337	

A 6 1 K 31/355  
 A 6 1 K 31/405  
 A 6 1 K 31/437  
 A 6 1 K 31/439  
 A 6 1 K 31/525  
 A 6 1 K 31/565  
 A 6 1 K 31/568  
 A 6 1 K 31/57  
 A 6 1 K 31/573  
 A 6 1 K 31/618  
 A 6 1 K 31/7088  
 A 6 1 K 47/08  
 A 6 1 K 47/12  
 A 6 1 K 47/14  
 A 6 1 K 47/22  
 A 6 1 K 47/30  
 A 6 1 K 47/32  
 A 6 1 K 47/34  
 A 6 1 K 48/00  
 A 6 1 M 31/00  
 A 6 1 P 15/00  
 A 6 1 P 29/00  
 A 6 1 P 31/00  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 37/00

## 【手続補正書】

【提出日】平成20年11月28日(2008.11.28)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

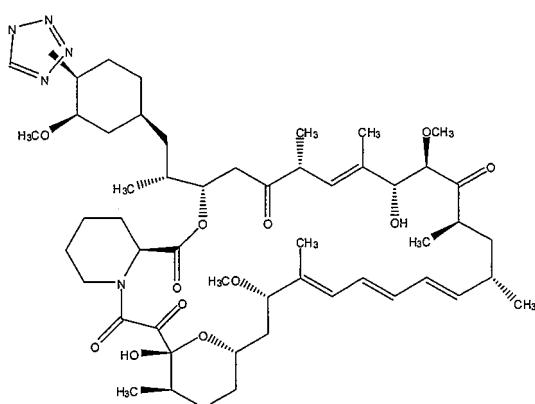
【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【0035】

## 【化1】



によって表される化合物またはその医薬適合性の塩もしくはプロドラッグを開示する。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

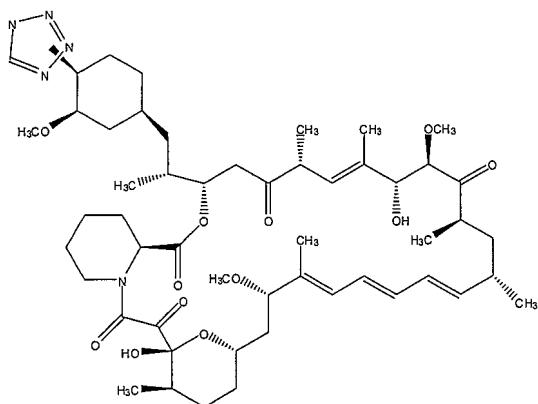
【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

【化2】



またはその医薬適合性の塩もしくはプロドラッグ、これは  
下記：

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

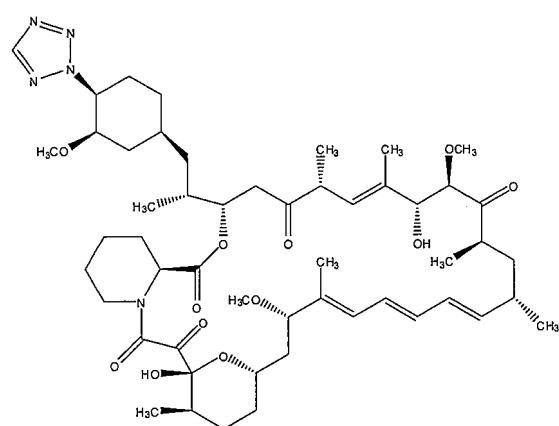
【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

【化3】



またはその医薬適合性の塩もしくはプロドラッグ、  
下記：

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

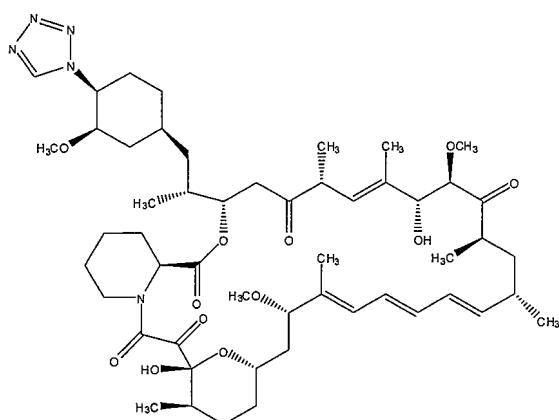
【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

【化4】



の化合物がある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

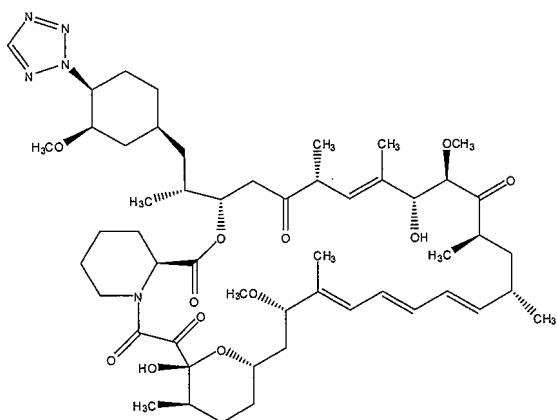
【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

【化5】



の化合物がある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

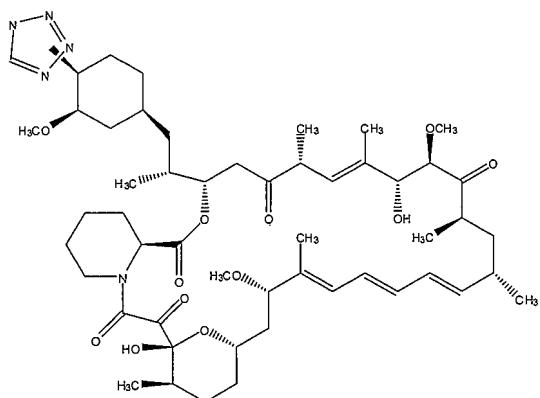
【補正対象項目名】0 1 8 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 8 6】

## 【化6】



を有するラパマイシンのテトラゾール誘導体で、Abbott Laboratories の特許化合物（米国特許第 6,015,815 号および同第 6,329,386 号（本明細書に参照して組み込まれる））、パクリタキセル、ラパマイシン、ラパマイシン類似体および誘導体（ピメクロリムスおよびエベロリムスを含む）、フェノフィブレート、カルベジロール、タキソテレス、ベータカロチン、トコフェロール、トコトリエノールならびにタクロリムスが挙げられるが、これらに限定されない。上に示したように、本発明において水和抑制剤であることができる、適する薬物の選択は、送達される水和抑制剤と有益薬剤の相対的な Log P 値に基づく。